

This image shows a horizontal strip of decorative tilework, likely from a Japanese temple or shrine. The design is composed of blue and white tiles arranged in a repeating pattern. It features stylized figures, possibly deities or mythical creatures, in a dynamic, walking pose. The figures are rendered in a traditional artistic style with simple lines and shading. The background consists of intricate geometric patterns, including circles and stylized floral motifs. The overall aesthetic is characteristic of Edo-period decorative arts.

# 青原3中が優勝　＝中体連駅伝大会＝

中体連駅伝大会を11月10日、田子浦海岸堤防で行ないました。大洲中、富士中など10校が参加し10区間のコース（1区間4.4km）で健脚を競い合いました。記録は雨が降つていたのであまりよくありませんでしたが、吉原第3中学が2時間27分9秒で優勝しました。なお、区間最高は清水敏行君（3中）の13分57秒でした。



富士川河原でご飯ごうすいさん、

――南中の全校生徒633人が――

富士南中学校では、秋の遠足のかわりに、全校生徒（633人）が富士川河原で「飯こうすいさん」をさきどり行ないました。4~5人のグループで料理をつくりましたが、河原には130余りのカマドができあがり、男子は御飯たき、女子はスキヤキやサラダなどおかず

つくりにいっしょうけんめい。まわりは、いいにおいがいっぱい。みんなの手作りとあってすこしかたい御飯もなんのそー。食事をしてからは、クラスごとにゲームやバレーボールなど軽い運動、自然を満喫し1日を楽しくすごしていました。

# 田子小でサイエンス力一教室

田子小の6年生は、11月15日サイエンスカースター教室を行ないました。これは県児童会館が今年の10月からはじめたもので、動く科学館と呼ばれ、理科の実験道具を自動車に積んで、県内の小学校や少年団体を対象に回つてゐるも

のです。田子小では、強力磁石や大型レンズ、双眼実体顕微鏡などを使って勉強しました。

【写真は強力磁石を使って、発電機の原理などを勉強する6年2組の生徒たち】



# 富士市の 面積は・・・

工場や住宅、商店、畠などが集まって大きな都市が生まれる。富士市も昔は13の町や村にわかれていたんだけど、だんだん一緒になつて、41年11月1日に、いまのようになつたんだ。面積も静岡県で8番目に大きくなり!、ちょうど清水市と同じくらいになつたよ。東西の長さは18キロメートル、南北の長さ 27.5キロメートル、周囲 105キロメートル、面積は215.34平方キロメートルもあるんだ。だけど、人の住んでいるところは面積の10分の1しかなく、あとは山林、畠、田んぼなんかが多いんだ。なかでも山林は一番大きく富士市の面積の3分の1以上をしめているんだ。ところで、富士市にはいま192.345人が住んでいるけど、なかでも一番多く住んでいるところは広見町で、商店が集まっている富士駅付近や吉原本町付近も多いんだ。

